



2008年2月25日
株式会社ヒューマントラスト

つちだわ か こ
車椅子アスリート 土田和歌子 選手
第19回全国車いす駅伝競走大会(京都)に
東京都代表として1区出場
東京4年ぶりの8位入賞に貢献

総合人材サービス企業の株式会社ヒューマントラスト(本社:東京都千代田区、代表取締役 阪本美貴子)の社員で、アテネパラリンピック金メダリストである土田和歌子選手は、結婚・出産による1年間のブランクを経て昨年復帰し、国内外のマラソンやトラックレースにおいて好成績を収めています。(2頁ご参照)

そして2/24(日)、「第19回全国車いす駅伝競走大会」に3年ぶりに出場し、第1区(6.4km 国際会館→京都大学前)を14分05秒で走って8位となり、東京都が4年ぶり8位に入賞する結果に貢献しました。

【土田和歌子選手(株ヒューマントラスト) 競技結果】

第1区(6.4km 国際会館→京都大学前) 8位 14分05秒

【選手 コメント】

「雪の中でのレースとなりましたが、各都道府県のエースが揃う1区で、男子選手混じり積極的なレースが出来ました。今回のレースは自分の中で確かな手ごたえを掴めた気がします。更に力をつけて次回のレースに臨みたいと思います。」

【プロフィール】

1974年10月15日 東京都生まれ
高校2年の時、友人とドライブ中に事故に遭い、車いす生活に。

1993年アイススレッジの講習会に参加したことがきっかけで、日本で最初にアイススレッジスピードスケートを始める。

長野パラリンピックでは1500メートルで自身の世界新記録を更新し金メダルを獲得。
1000メートルでも金メダル、100メートル、500メートルでは銀メダルを獲得した。

一方、陸上競技にも挑戦し2000年シドニーパラリンピック車いすマラソンで銅メダルを獲得。
2004年アテネパラリンピックでは、5000mで念願の金メダル、フルマラソンでは銀メダルを獲得。
日本人初の夏冬「金メダリスト」となった。

東京都教育庁、セイコ・ハシモトインターナショナルコーポレーションを経て、06年11月、(株ヒューマントラスト)に入社。結婚出産のため06年1月から10月まで一旦、競技生活から離れていましたが、11月に産後3カ月でトレーニングを開始。2004年アテネパラリンピックであと一步のところまで達成出来なかった、5000mとマラソン2種目での金メダル獲得を目指し、2008年の北京へ向け挑戦を続けています。

【復帰後の実績】

- 2007年4月16日 第111回 ボストンマラソン(米国)
車いすの部 女子 1位 1時間53分30秒
[日本人女性初の優勝][パラリンピック北京大会 標準記録(2時間10分)突破]
- 2007年5月27日 第18回 日本身体障害者陸上競技選手権大会(大阪)
5000m (女子) 1位 12分27秒16
[パラリンピック北京大会 標準記録(14分00秒)突破]
1500m (女子) 2位 3分34秒54 [日本記録更新]
- 2007年6月17日 2007 はまなす全国車いすマラソン大会(札幌)
フルマラソン女子 1位 1時間56分39秒
[パラリンピック北京大会 標準記録(2時間10分)突破]
- 2007年7月1日 第12回 関東身体障害者陸上競技選手権大会(東京)
5000m (女子) 1位 12分32秒
[パラリンピック北京大会 標準記録(14分00秒)突破]
1500m (女子) 1位 3分41秒62 [大会新記録]
- 2007年9月1日 第11回 IAAF 世界陸上競技選手権大会(大阪)
1500m (女子) 5位 3分39秒31
- 2007年9月30日 第19回全国車いすマラソン大会(兵庫)
ハーフマラソン(21.0975km) 女子 1位 総合 3位 51分45秒
- 2007年10月28日 第27回大分国際車いすマラソン大会(大分)
フルマラソン 女子 1位 1時間38分55秒
[パラリンピック北京大会 選考対象記録(1時間39分)突破]
- 2007年11月4日 ニューヨークシティマラソン 2007
フルマラソン 車いす部門 女子 7位 2時間01分48秒
- 2007年12月2日 日産カップ追浜チャンピオンシップ 2007(神奈川)
ハーフマラソン(21.0975km) 女子 1位 51分42秒
- 2008年2月17日 東京マラソン 2008(東京)
車いすマラソン 女子 1位 1時間45分19秒

株式会社ヒューマントラストについて

1995年2月の設立以来、人材派遣、人材紹介、アウトソーシング、人事コンサルティングと順次事業を拡大、売り上げも順調に推移し、現在全国23拠点(2007年3月現在)でサービスを展開しています。

従来、総合人材サービス企業として多様なニーズに合わせた人材活用を提案してまいりましたが、障害者の雇用促進を目的に、2007年3月、ヒューマントラストフロンティアを設立しました。土田選手は、同社の設立準備段階である2006年11月にヒューマントラストに入社し、まず当面は北京パラリンピックに向けた練習を活動の中心としています。そしてパラリンピック以降、本格的に障害者雇用促進プロジェクトの推進役として、自身の経験を活かしながら、「夢」、「家庭」、「就労」を両立させるような仕組みづくり、環境づくりに参画する予定です。

報道関係の方からのお問い合わせ先